

第2回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会

日時：令和4年10月17日（月）

午後1時～3時

場所：金沢区総合庁舎 5階1号会議室

議事次第

1 開会

2 議事

- (1) 第1回委員会での議論内容の確認
 - ・第1回委員会の振り返り
 - ・第1回委員会議事録（案）の確認
- (2) 基本的な方向性について
- (3) 答申構成案について
- (4) 金沢区区民文化センターニュース第2号（案）について

3 事務連絡

4 閉会

資料目次

資料1	第1回委員会での議論内容の確認 1.第1回振り返り／2.第1回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 議事録（案）
資料2	金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について 1.重視する視点／2.望ましい機能／3.事業（施設）運営の方向性 コンセプト（めざす姿）
資料3	答申構成案について 1.答申の構成案／2.機能配置・構成イメージについて
資料4	金沢区 区民文化センターニュース 第2号（案）
—	金沢区 区民文化センターニュース 第1号

●第 1 回委員会での議論内容の確認

1 第 1 回委員会の振り返り

(1) 全体に関する内容

整備背景について

- ・ 整備の必要性について、冒頭に説明を入れる必要がある。(津軽石委員)
- ・ 整備候補地については、狭いという意見もあるが、制限がある中で知恵を絞って進めていくべき。(横井委員)

答申(案)の構成について

- ・ 「重視する視点」「望ましい機能」「事業(施設)運営の方向性」は一貫性を持つ整理が必要。(津軽石委員)

(2) 重視する視点について

構成について

- ・ 広域の視点から対象に徐々にフォーカスが当たるような整理が必要。(三輪委員)
- ・ アンケート結果等も含めた事実に基づく「視点の背景」設定必要。(津軽石委員)
- ・ 「重視する視点」が次の「望ましい機能」「事業(施設)運営の方向性」に繋がる方向性があった方が良い。(津軽石委員)

金沢らしさについて

- ・ 金沢区の歴史性を重点的に考えて、それを生かしながらやるべき。(横井委員)

社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)

- ・ 年齢層だけでなく人種や障がい者等も含めた多様性の捉え方をすべき。(赤江委員)
- ・ 新たに文化・芸術活動を始める人などへも広くアプローチしていく内容とすべき。(三輪委員)

(3) 金沢区における区民文化センターに「望ましい機能」について

魅力発信

- ・ 区民や来街者に対する魅力発信を重視すべき。(北原委員)
- ・ 魅力を発信し、歴史・文化をアピールするという視点は重要。(鈴木(伸)委員長)

情報発信

- ・ 駅前という立地から、来街者に対する案内機能を入れてはどうか。(津軽石委員)
- ・ 区民文化センターの存在を知らせるためのプロモーションにどんな機能が必要かは考えるべき。(浅葉委員)

立ち寄りやすさ

- ・ 用事がなくても立ち寄れるスポット(「とまり木」機能)となることが大事。(三輪委員)

- ・ 1階は関心を持たれる設えとし、文化を浴びるような空間とすることが重要。(三輪委員)
- ・ 1階レベルで街にどのような開き方をするかがポイント。(鈴木(伸)委員長)
- ・ 1階の余白空間(屋外スペース)は確保すべき。(三輪委員)
- ・ イベントがない時でも目的地になるような、カフェのような交流する機能が重要で、かつそこで金沢の歴史・文化に触れる体験になることが望ましい。(鈴木(伸)委員長)

敷居の低さ

- ・ 文化・芸術に対する敷居をどう低くし、第1歩を踏み出してもらうかが重要。(浅葉委員)
- ・ 文化・芸術にあまり関心のない層をどう取り込むかは考えるべき。(赤江委員)
- ・ 子どもや若い人、その親世代が行きたいと思える魅力を折り込んでいく必要がある。(鈴木(達)委員)

必要諸室について (ハード面)

- ・ 区民から切実な要望があるギャラリーと、練習や小さな発表などフレキシブルに使える多目的室は整備して欲しい。(鈴木(達)委員)
- ・ 音楽の発表ができるスペースは、小規模だからこそ、充実した照明等の機器の完備などの工夫が必要。(阿部委員)
- ・ 多様な団体規模に応じた可動式の間仕切の採用。(津軽石委員)
- ・ 居心地のよい事務的スペースも、事業運営の方向性も考慮して考えるべき。(三輪委員)

(4) 事業(施設)運営の方向性について

近隣施設等との連携

- ・ 近隣の文化施設との一体的な運営もコンセプトに据えるべきではないか。(津軽石委員)
- ・ 区内他施設との連携や、利用者同士の交流、歴史文化を中心とした他地区との連携など、そうしたハブ機能の考え方も重要。(北原委員)

地域住民との連携

- ・ 自主企画立案等においては、地域の方の手を借りるなど、運営に区民が関わっていくような仕組みも考えてはどうか。(鈴木(伸)委員長)

気軽な利用形態のあり方

- ・ 利用しやすいような料金設定や、気軽に借りられる、見ることができるような施設運営が必要。(阿部委員)
- ・ 使いやすい料金設定や時間設定は非常に重要。(鈴木(伸)委員長)

運営者の役割

- ・ 体験学習等の自主プログラムを企画・実施できるような運営者が望ましい。(鈴木(伸)委員長)

環境問題等

- ・ SDGsに関する内容も含めるべき。(赤江委員)

防災計画について

- ・ 周辺の民間施設と連携した災害対応の考え方も重要。(三輪委員)

2 第1回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 議事録（案）

第1回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 会議録	
日 時	令和4年9月22日（木） 9時30分～12時
開催場所	金沢区総合庁舎 6階2号会議室
出席者	<p>【 委 員 】 赤江直美委員、浅葉弾委員、阿部きみえ委員、北原まどか委員、鈴木達洋委員、鈴木伸治委員長、津軽石昭彦委員、三輪律江委員、横井正巳委員 (9名中9名、委員は五十音順)</p> <p>【 事務局 】 金沢区長、金沢区副区長、金沢区区政推進課長、金沢区地域振興課長、文化観光局文化振興課、株式会社山手総合計画研究所 ほか関係職員</p>
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者2名、報道4名）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎情報の共有 2. 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性についての意見交換 3. 金沢区区民文化センターニュース第1号（案）について
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鈴木伸治委員を委員長に選任 2. 基本的な方向性に関して、5つの重視する視点を決定 3. ニュース第1号について、文言修正し委員長一任で決定（第2回委員会前に発行）
議 事	<p>開会</p> <p>区 長 挨 拶 横浜市では、区民の皆さまが身近に文化・芸術に接し、幅広い分野の文化・（金沢区長）芸術活動を活発に行うことができるよう、区民文化センターの整備に向けた検討を進めております。</p> <p>金沢区内には、市民利用施設としては、区役所の隣に金沢公会堂が平成30年度にリニューアルオープンした他、文化施設である長浜ホールや、身近な活動の場である地区センターが5か所あるなど、公共施設だけでもいくつか活動の場はあるものの、身近な文化・芸術活動の拠点となる区民文化センターは未だございません。長年、区民の皆様、特に文化活動、芸術活動をされている皆様方からは、区民文化センターを整備してほしいとお声をちょうだいしておりました。区民文化センターの整備は、区民の皆様の長年の悲願でもありました。私としても、ようやく整備検討を進められることができ、うれしく思っております。整備候補地は、金沢八景駅前の商業地域にある市有地になります。歴史的、文化的に貴重な資源に恵まれた金沢区において、特に歴史的資産、文化的資産が点在しているのが、この金沢八景周辺のエリアです。</p> <p>今年度は、こちらの委員会におきまして、金沢区の文化施設として、望ましい機能などについてご議論いただき、4回の委員会を経て、横浜市へご意見を頂戴したいと存じます。金沢区ならではの文化施設の整備に向けて、まず</p>

は基本構想を策定すべく、委員の皆様方からの忌憚のないご意見と、活発なご議論を期待しております。

区政推進課長 委員及び事務局の紹介 (資料1)

委員会の趣旨及び委員会の進め方 (資料2・資料3・資料4)

1 委員長の選任

- ・委員長に鈴木伸治委員を選任。

鈴木委員長 委員長を拝命致しました鈴木です、改めましてよろしくお願ひいたします。この区民文化センターについては、長年地域の方々のご尽力され、ようやく基本構想の検討に入ったと理解しています。そういう意味でも、金沢区にとって非常に重要な施設になると理解しております。4回という短い期間で構想をまとめなければならないので、委員の皆様方には、集中的にご議論頂き、それをうまく取りまとめられるよう努力したいと思います。

- ・以降の議事を鈴木委員長に一任。

2 議事等

鈴木委員長 それではこれより議事に入ります。

まず、議事1の基礎情報の共有について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料5)について説明

鈴木委員長 今説明頂いた基礎情報の共有については、議論の前提等の情報となります。特に議決を取るというものではありません。資料に関して質問等ありましたら、お願ひいたします。いかがでしょうか。

一 同 (質問なし)

鈴木委員長 議事2に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料6)について説明

鈴木委員長 まず、本日の進め方の確認ですけれども、今説明して頂いた1つ目の「重視する視点」については、本日皆さんの意見を取りまとめて、議決を図りたいと思います。2つ目、3つ目の「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」については、各委員から意見を出して頂き、次回の委員会に資料に反映させ、継続的に議論する流れで進めたいと思います。

進め方についてよろしいでしょうか。

一 同 (質問なし)

鈴木委員長 それでは、本日の委員会の中で、皆さんにご意見を頂きたい部分となりますので、それぞれの立場から区民文化センター整備に関する思いも合わせてご

意見等をお聞かせいただければと思います。

鈴木(達)委員 私共の横浜金沢文化協会は、団体 26、個人 100 強が所属しています。資料 5 で説明がありましたように、区民文化センターを是非つくって欲しいという要望書にも、名前を入れさせて頂いた経緯もあります。

今回の計画について会員も非常に期待をしており、会員の意見を伺ってきました。その中では、数百人規模の音楽ホールや音楽の練習が出来る場所の確保等の意見が寄せられました。音楽ホールについては、現状の施設は時期により予約しづらかったり、小規模の団体にとっては公会堂の講堂は大き過ぎるため、中規模のホールを検討頂きたいという声も寄せられました。現状では、港南区や磯子区のホールを使ったり、横須賀市や逗子市等のホール等も工夫して使っているのが実情です。ギャラリーに関しては、金沢区に本格的な施設がなく、近隣の施設を利用したり、体育施設を工夫して利用している状況で、関係者にとっては非常に困っているという声も聞いています。また、音の遮断された練習室の話がありましたが、この辺も非常に困っており、周辺に借りに行くなどの工夫をしながらやっております。ダンスや舞踊をやっている団体も会員に入っているが、床を踏みしめても大丈夫なような工夫された部屋が欲しいとの声も寄せられました。さらに、小さな発表会もできるような多目的室にしてくれば良いというような要望も出てきました。

先程説明があった通り、敷地が限られており、実現できる施設も限られているということで、私としては、皆から切実に欲しいと要望があったギャラリーと、面積的な限界はあるので、練習や小さな発表にも使える多目的室に絞らざるを得ないと理解しています。

ただ、数百人規模のホールについても、我々の中では期待が大きいところです。20 年あるいは 30 年先になるかもしれないが、本格的なホールの計画も継続的に検討をお願いしたい。

区政推進課長 本日、皆様にご覧いただきました資料については、この整備のきっかけとなりました令和 2 年の全連合町内会の皆様、議員の皆様、横浜金沢文化協会の皆様からの要望というものがきっかけとなりまして、限られた土地であるが、整備を進めるといったことになっています。

今まきにお聞きした内容は、これから議論頂きます重視する視点の 1・2・3 のあたりに該当する内容だと思っております。決して十分に広くない土地の中で、どうやって皆様の声を生かしていけるかというのは、我々これから案を作っていく中で工夫をしていきたいと思っております。

津軽石委員 全体的なフレームに関わる内容についてご質問させて頂きたい。

まず 1 点目は、整備の方向性について、なぜ必要なのか、なぜここに造らなければならないのか、区民文化センターを整備する必要性の説明が、重視する視点の前に必要ではないかと思っております。資料では、中期計画に書いてあり、

それが金沢区では未整備だからという説明だと思うが、その辺についてコンセンサスが得られるような基本構想の考え方があるべきではないかと思えます。

2点目は、重視する視点について、一応背景的なものを定性的に書いているが、アンケートしたらこのような結果が得られたから、やはりこういうコンセプトが必要だよ、といった事実に基づく政策決定（視点の設定）が必要だと思います。

3点目は、「重視する視点」「望ましい機能」「事業運営の方向性」は、おそらく一貫性のある事が必要になってくるのではないかと。例えば、「身近な文化・芸術の創造」のためには、このような部屋の作りが必要だよ、そのためにはこういう運営や体制が必要だよ、というような。

区政推進課長 1つ目の必要性については、区内では文化・芸術の活動施設が少ないというのは従来からございました。そのため、横浜市の方に区からの要望を申しておったところです。

2つ目の重視する視点については、今日議論いただく事務局案ですが、これにつきましては、以前に伺った区内の文化活動の団体の皆様の意見や、今回の市民意見募集などを基に、事務局案を示させて頂いたということになります。

先ほど、委員長からもお話いただきましたけれども、本日はこの「重視する視点」の方向性について示していただいた上で、機能と、その機能十分に生かしていける運営の方向性というものを、1つの流れの中で、議論していただきたいというように事務局としては考えております。

津軽石委員 そうすると、答申案を母体として、基本構想をお作りになるのですよね。そうすると、やはり前提となる整備の必要性が入った方がいいのではないかと思うが、皆さんいかがでしょうか。

鈴木委員長 私の方から少しコメントさせていただきます。まず、人口1万人当りのホールの席数等を政令指定都市で比較すると、横浜市は必ずしも高いレベルにある訳ではない。そういった意味で、これから人口の減少が見込まれる中で、多くの人に選んで頂ける自治体になるためには、郊外区的生活環境整備が不可欠であろうというところから、議論が開始されていると思う。そこは全体のフレーム論になってくるため、金沢区だけ特別に何か議論をするという類いのものではないだろう。ただ、その基本的なその方針の中で、なぜ中期計画の中でそういう方針が示されたのかということについては、きちっと説明する必要はあると思います。いかがでしょうか。

浅葉委員 先程の鈴木（達）委員のお話に繋がるものがあるが、私は金沢文庫芸術祭のお祭りの実行委員をやっており、9月18日大雨の中、開催した。雨の中でみんな参加してくれていて、よほどやりたかったのだな、よほど催しをした

かったのだな、他に場所がないのだからって感じました。そういう意味で、大きな期待が持たれるのは当然のことだと思います。

既に活動されている方にとっても大切な場所だし、僕が思ったのは、やはりこれから何かを始める方とか、まだ全く始めていない方にとって、どう敷居を低くして、第1歩を踏み出して頂くということも重要だと僕は思っています。その中でも、特に子どもを重視した活動の場ができたらいと僕は考えていたが、立地的に実は子どもにとって非常に行きづらい場所と思います。まだ0の人たちが、第1歩を進めるためには、何をしたらいいのか、僕に具体的なアイデアがあるわけではないが、そういう施設も必要だし、後々、結局は企画が重要なのかなと思います。配布資料に、アウトリーチの事例があったが、いかに子どもや第1歩を踏み出したい人たちが入ってきたい、やってみたいと思えるかが重要なのかなと思います。それと、先の話ではあるが、プロモーションが重要となるのかな、というような印象を受けました。

「重視する視点」に関しては、意見は特に無いです。

鈴木委員長 ご意見頂いた最初の一步を、如何にハードルを下げて、かつ参加してもらおうかという、すごく重要な視点だと思います。

赤江委員 5つの「重視する視点」について、非常に興味深く読ませていただきまして、非常によく議論されていると感心しております。その中で1点、質問も兼ねてになりますけれども、視点2の「多様な世代・多彩な分野の文化・芸術活動」のところについて、年齢層のことを書いてありますけれども、金沢区内の外国人層はどのようなのでしょうか。コミュニティとか、そのような層というのはどのぐらいのシェアがあるのか。例えば、私は中区におりますけれども、非常に多く、南区の方でも南米の方が多いとか、県としてはベトナムの方が多いとかってありますが、金沢区はどういった特徴があるのでしょうか。

区政推進課長 感覚的などころではありますが、まちで暮らしているながら、1つのコミュニティとして成り立っているというようなところは、他の地域と比べると大きなコミュニティは少ないかなという印象です。

赤江委員 大きな外国人のコミュニティがないと伺いましたけれども、もしちょっと足りないとしますと、この視点2のところ、多様な世代とあるが、年齢層のことだけでなく、人種や障がい者等も、もう少しここに盛り込んでいただくと、幅が広がると思いました。

もう1つ申し上げますと、横浜市の方では、SDGsを非常に推進している市と認識しています。そういった視点も言葉として、どこかに入れていただいくのもよろしいのかと思います。環境問題のことや、金沢区は海に面しているということもありますので、そういったことも何かしら視点に入れることで、金沢区らしさに繋がっていくのかな、と思います。

鈴木委員長 金沢区の外国籍の方について補足すると、産業団地がある関係で、そこで働

いている外国人の方がいますので、全く外国籍の方がいらっしゃらないという訳ではないと思います。

北原委員 金沢区の方で魅力発見・発信事業の方に携らせていただいております、区民ライターの育成等を行って2年目になります。金沢区の課題として、人口減と高齢化が著しいところであって、移住促進に力を入れていらっしゃるという中で、一方で、区民ライターの方々は、生活満足度であったり、金沢区に対する愛着というのは、非常に高い街であるということを感じております。

「重視する視点」には、区内外の人々も親しんでいるような観光資源のことも書かれておりますけれども、金沢区が抱える大きな課題に対して、文化施設が整備されることによって、区民満足度が上がったり、来街者も増えて、来街者にとっても金沢区の魅力が大いに発信され、この街に暮らしてみたいと思えるような方々を呼び込むような機能というか、魅力発信というところを、重視していただけるといいのではないかな、と感じました。

鈴木委員長 先日、生涯学習のまち歩きを金沢八景駅前のデッキからスタートして歩かれているところを見かけました。区外から来られる方もいらっしゃったのではないかなと思いますけど、そういった意味では、区外からの来訪者の窓口になるような、場所にもなり得るといご指摘に対して、すごく納得いたしました。

阿部委員 私は、金沢区民文化祭実行委員会副委員長ということで、今回携らせていただいております。その他、金沢区子供会連絡協議会の理事、金沢民謡協会の会長もやっております、子供から高齢の方まで携わっております。

敷地を何回も拝見させて頂き、その第1印象は狭いなという印象です。ここに、区民文化センターが建つのか？という感じで、この候補地に区民文化センターを建てるためには、いろんな難関があると感じています。そんな中で、私が希望しているのはホールですけども、この中にステージと固定式の椅子が付いたホールは、正直難しいのかなと感じています。

先日、知人のライブが銀座でありまして見に行ったのですが、ライブハウスだったのですが、音を出す発表ができる防音室には、そういうライブホールの様なのもいいかなと感じました。そのライブハウスは、音響や照明も付いており、いいなと思ったのはステージに少し段差が付いている点で、見る側の客席の方も椅子の所に角度が付いていて見やすくなっていました。限られたスペースでも、工夫すれば抜群の環境で音楽の発表もできると感じました。その他、演劇の方も携わっているが、演劇もできるし、プロの方も満足できるホールというのも、立派なホールではなくとも、コンパクトなライブハウス的なものでも、照明もよいものをつけるなどの工夫をすることで、

満足のいくものが出来るのではないかと期待しております。

また、私は民謡もやっておりますが、太鼓の音がうるさいと言われます。防音室には、声だけではなく、楽器、特に打楽器の音が漏れないように、整備して頂けると嬉しいです。

鈴木委員長 確かに、ライブハウスのように設備の工夫によって、だいぶ解消できる部分もあるのかな、とお話を聞いていて思いました。

横井委員 金沢区は、歴史があるので文化観光を重点的にやろうということは、既に亡くなられた議員が熱心に取り組んでこられました。他の委員から候補地が狭いという意見が挙がっているが、ようやく日の目を見たのだから、贅沢を言わないでと感じています。金沢区は 800 年の歴史があるということで、歴史性を重点的に考えて、これを生かしながらやるべきではないかな、というふうに思います。制限がある中で、皆さんで知恵を絞ってやっていかれたらと思います。

三輪委員 「重視する視点」の 5 つに関しては、大体網羅されているというように理解しております。特に異論はないです。

基本構想の答申として、基本計画と設計への指針みたいなものを、我々の方から出していくためのベースになるものとしては、一応網羅されていると感じている。

ただ、1 点気になっているのは、視点の背景がタイトルと対応しているかという点で、文言の修正が若干必要ではないかと思えます。それと、順番です。例えば、私は視点 5 から行くべきと思っています。大括りの、金沢区とはどういう歴史があり、その中で、金沢文庫や金沢八景の核となるエリアはどんなところで、その中の金沢八景の 1 つの点にフォーカスが当たっていくような整理をしていきながら、文化芸術というものと街との関わりの中で、解いていくというような話がストーリーとして整理されていた方が良いと思えます。

もう 1 点、視点 1 の背景に「文化・芸術活動をしている区民」と限定された書き方をしている。新たに始めるが、視点 3 に内包されている。でも、新たに始める人じゃない人も関連してほしい施設であり、もしかしたら、文化・芸術に触れるとか、関心を高めるとか、そういうキーワードがどこに入るか考えた時に、視点 4・5 とかなのかなと思ったりしている。テクニカルな所だが、例えば 1 階のエントランスがちょっとした休憩所になっていて、国道 16 号線を渡って区役所の方に用事がある人がついでに立ち寄れるスポットになることによって、文化・芸術の情報を浴びる、あるいは目にするとか、そういう作り込みは今後の計画で必要だと思います。

今の状態だと、箱の入り口はシャットアウトした状態から、文化・芸術の場

になっていくみたいな、イメージを持ってしまう。

逆に基本構想の段階では、関心を持つ設えみたいなものを重視するような観点をどこかに入れていただきたいなと思っていて、それが「重視する視点」なのか、次の機能のところなのか、バランスは必要だとは思いますが。

鈴木委員長 ご提案としては、視点5を1番最初に順番を入れ替える方が良いということと、視点3の部分は言葉というよりは、中身の部分の精査が必要とのご意見がありました。

鈴木委員長 私も意見を述べさせていただくと、赤江委員や北原委員が述べられた金沢区の魅力を発信していく歴史文化をアピールするという視点はすごく重要だと思います。駅前の区画整理で道路形状は変わったが、丁度旧道にあたる。そういった意味では、瀬戸神社から金沢八景権現山公園、権現山に繋がる昔の街の構造の真ん中に位置する大事な場所だと思います。

また、最も視点4が大事だと思っている。やはり、街を歩いていて、ふとそこに立ち寄るとか、1階レベルで街にどのような開き方をするかがポイントだと思います。如何に魅力的な場所であるかが分かるような設えを作っていく、今はウォークアブルな街づくりが重要だと言われており、金沢八景駅周辺は、歩いて楽しめる街。そこに魅力を添えるという意味でも視点4は重要だと思います。

「重視する視点」の5つについては、私としては特段変更の必要はないと考えています。

津軽石委員 私も視点の文言自体に意見は特に無いです。

先程、少し申し上げたが、次の望ましい機能、事業（施設）運営の方向性に繋がるような、イメージできるような、方向性があつた方がいいのではないかと。例えば、先ほどの多様性のお話があつたが、そうすると外国人の人に対するいろんなサービスであつたり、あるいは、LGBTQの話とかを彷彿させる。あるいは、身近な文化・芸術の創造については、大きな団体から小さな団体まで使いやすいような、壁の可動性であつたり、そういうのに繋がるような話とか。それから歴史文化については、駅前なので来訪者に対する案内機能であつたり、中の展示や壁の仕様等で歴史文化を感じられるようなものとか。まさに、にじみ出てくるようなことが書いてあると良いと思います。また、狭いという話があるが、候補地から少し歩くと図書館・公会堂があつて、文化施設を一元的に運営することによって、ある程度狭さをカバーするような、一体的な運営もコンセプトとしてあつた方がいいのではないかと思いました。

公会堂の指定管理者は、主にハードの管理運営で、企画事業はあんまり関わっていないと聞いたが、そうすると公会堂の企画部分も場合によっては、区民文化センターの方で少しカバーできるとか、関連施設・近隣施設を一体的

に運営できるようになれば、多少狭くとも、補い合うことが出来るのではないかと思います。視点4の部分になるのかもしれませんが、そういう運営方法が連想できるようなコメントがあると、よいのではないのかなと思いました。

鈴木委員長 事務局に確認ですが、視点の四角囲みのタイトル部分は皆さん概ねこの内容で良いとのご意見を頂きました。今回議決するのは、大まかな方向性で、視点の背景の文言までは確定させなくても良いという理解でよろしいですか。

区政推進課長 はい。5つの視点を決めて頂き、視点の背景や構成等についても本日意見を頂きましたので、そこについては、今後考えていきたいと思えます。

鈴木委員長 それでは、ご意見をまとめていきたいと思えます。

視点2は、赤江委員より、ソーシャルインクルージョンの観点から、外国籍の方などに言及してはどうかというご意見もありました。そういった視点を少し加えるということで、どうかと思えます。

視点3は、浅葉委員より、次世代の育成という意味で、新たな文化芸術活動のきっかけ作りというようなご意見・ご提案もありましたので、その部分は含めても良いのかなと思えます。

北原委員より、来街者へのというような視点もありました。これは、視点4か5になると思えます。

視点5は、私も視点の背景を読んでいて気づいたが、歴史の方ばかり書いてあり、金沢区らしさの魅力を発信という文言が少し足りない感じがいたしました。その視点を加えて頂ければと思えます。

津軽石委員より、複数の文化施設の連携の核になるようなイメージをご提案いただきました。視点4にそのような文言を入れていただければと思えます。

三輪委員より、ご提案ありました視点5を最初に持って行って、順番の入れ替えを行う。

鈴木委員長 「重視する視点」について、今回の委員会で決定させていただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

一 同 (意見なし)

鈴木委員長 視点の背景等の細かい部分については、若干修正入りますが、この5つの視点については、承認頂けたということで、次回以降、これをベースに議論を進めていきたいと思えます。

鈴木委員長 続きまして、既にいくつかご提案をいただいています、望ましい機能について、今まで発言できてない部分などがあれば、ご意見をいただきたいと思えます。

三輪委員 これから議論をして、具体的なボリューム感みたいなものが出てくると思うが、1階の設えが一番キーになると思っています。広い意味で俯瞰して見た時に、1階を通過して、区役所・公会堂の方に行くアクセス性をどう高めるか、ちょっとした立ち寄り処になったり、文化を浴びるみたいなイメージとかは、屋外スペースに該当してくる部分であると思う。1階の余白空間の確保は、最初から望ましい機能に入れておかないと、1階に壁が立ち上がるようなイメージとなるのが懸念されます。他の施設の検討委員会の時には、「とまり木」機能と表現をします。いろんな人たちがそこにちょっと立ち寄るような機能が小さくてもあって、そこで文化を感じるような機能は1階に欲しいと思います。今は、文化施設として必要な機能だけであるが、そこに触れるための機能みたいなものをキーワード入れといていただくのがいいのかなと思います。

津軽石委員 先程もお話しましたが、視点から繋がる機能という書きぶりがあった方がいいと思う。例えば、表の左側に発表・発信・練習活動とかが書いてあるが、視点1だとかこうだ、視点2だとかこうだ、というような整理の仕方の方が、はじめにご覧になる方には分かりやすいように思いました。そうすると、その多様性のところをどうするのかとか、ここには書いていない部分も付加されてくると思います。また、ここに書かれているのはハードのことですが、機能という言葉はハードとソフトが複合したものだと思います。ソフトはおそらく運営の方向性の方になるかと思うので、ハードのことだけ書くのであれば、ハード機能というのがいいのかわからないが、その辺、もご検討いただいてもいいのかなと思います。

浅葉委員 お二方の意見に被るが、ここにできて、ここでできることをどうやって広めるか、かなり重要だと思っています。区役所とか、他の連携施設で伝えるのか、学校とかにポスター貼らしていただくのか、いろんな方法がありますが、一般市民は利用できる施設があることを知らない人が意外と多く、今現在も長浜ホールを知っている人が意外と少なかったりするもので、非常にもったいないと感じています。そこを如何に広くまで伝えることが重要であり、指定管理者の努力にもよるかもしれないが、そういう意味で、存在を知らせるためのプロモーションにどんな機能が必要かは考えたいなと感じました。

鈴木委員長 確かに、海外では、駅とか人が移動するスペースに、必ずそういう文化イベントのポスターの掲示する場所があり、商業的な広告より、そちらの方が目立つようになっている。そういう視点で見ると、この敷地だけじゃなく、金沢八景駅の文化施設で何がやられているのか、分かるようなものがあるのか、ぱっとイメージはで

きないですけれども、そういう視点で見ると、色々工夫が出てくるかもしれないですね。

浅葉委員 三輪先生がおっしゃっているように、通行人が何か感じるような工夫が本当に大切だと感じます。

阿部委員 私は、金沢区のフリーペーパーのライターを13~14年やっており、金沢区については割と隅から隅まで見て色々知っていると思います。区民に話を聞くと、金沢公会堂に行ったことがない人も沢山いて、最近フラダンスの皆さんに聞いたら、1回も使ったことがないという声が多く、もう建って何年も経つのに、知らない方々も沢山いらっしやったので、区民文化センターができた時には、いろんな形で利用する・見るチャンスが沢山出来るようになることが望ましい。区民の皆さんに開かれた、利用しやすいような、そういうものを望ましいなと思っています。また、金沢公会堂は、利用したいが、1日借りるとかなりの金額になる。区民文化センターが出来た時には、利用しやすいような料金設定であったり、気軽に借りられる、見ることができるような、そういうことも考えて、作られたら良いと思いました。

鈴木委員長 重要な視点だと思います。文化施設や公会堂など、貸出し時間の単位によって、稼働率だいぶ変わってくる。長時間の設定の場合、1時間だけでいいのにみたいなこともある。稼働率が下がってくると、そういった工夫をするが、最初の時点ではあまり考えられていなかったりするので、使いやすい料金設定・時間設定はすごく重要なご指摘だと思います。

鈴木(達)委員 区民文化センターの必要性という論点について、当協会ではほとんどの方が欲しいと思っているが、やっぱり批判的な目を向けておられる方もいることを承知しているので、対人口比など定量的な数値も踏まえ必要性は整理してもらいたいと思います。

それから、5つの視点について、当協会では歴史と文化の街づくりをキーワードにしているが、視点の背景などを見せていただいても、歴史という部分は強調されるが、歴史と文化と書いてありますから、文化とはなんなのという部分を、もう少しうまく整理して頂けないかと思っています。

文化という面も見えるような整理ができればと思います。

赤江委員 資料33ページの「望ましい機能」についての表は、読み込んでも分かにくい。重視する視点からどう発展して、こういったものが必要になるという内容が、もうちょっと分かりやすく書かれている良いと思った次第です。例えば、音を出す発表ができる音楽ルームとあるが、ほかに音を出す練習ができる部屋というのもあり、同じ部屋なのか別の部屋なのか分かりにくく感じました。

それから、人をどういう風に取り込むか、文化・芸術が好きな方々は、ある程度ほっておいても、来てくれるが、その周辺の人たちをどう取り込むかは、ホールの大小関係なく課題になっていると思います。一例として、大和市のシリウスがあり、スターバックスが入っていて、お客様が常に入ってきてやすい状態になっていて、図書館も本が手に取りやすいような状況になっている。

それをそのままやって欲しいというわけではないが、その視点というのは、非常に見習うべきところがあると思っています。

他委員と同じような意見がでておりますけども、この表のところ、もう少し精査されてもよろしいかなと思いました。

鈴木委員長 「望ましい機能」について、次回に向けて問題提起的な意味合いも含めて、少しお話させていただくと、欧米の文化施設等に行くと必ずカフェがある。カフェがあることによって、何かのイベントがない時でも、そこが目的地になっている。カフェでなくとも、交流する機能が重要であり、1人でも行け、2人の待ち合わせ場所に使えれば、そこが金沢の歴史・文化に触れる体験にもなる。敷居を低くするという意味合いでのカフェみたいなものはあっても良いと思います。ただ、限られた面積の中でできるかどうかは、検討が必要だと思います。施設のイメージを膨らませるという意味で、既存団体が利用することは大前提だが、例えば小学校の子供たちが1日クリエイティブな体験をするような場所になったり、金沢の歴史を知れて、創作活動等の体験してみることができるなど、ヘルシンキでは古い小学校をアートセンターした例もあって、そこではスタッフがプログラムを提供してくださるので、普通の小学校の授業では体験できないような、工作・美術が体験できるとか、そういうプログラムを作れるような運営者なのかなと思います。

ただ、その場合、このような施設は指定管理者に管理・運営を委ねることになるが、ホールの管理などをやっている企業系が多く、アートや子供向けのプログラムはあんまり得意ではない。だとしたら、地域の人たちの手を借りるとか、運営の中に区民の方に入っていたくような仕組みも考えてみてはと思います。かなり突飛な意見かもしれませんが、検討する余地はあると思います。

鈴木(達)委員 質問したい。施設の利用可能面積が400~500㎡という話があったが、建築関係者に聞くと狭いという意見があった。資料に建物をセットバックした計画と書いてあるが、敷地の800㎡にどんと建てるより狭くなるのか。

事務局 資料23頁の建設可能な容積イメージを見て頂くと、当該候補地は北側斜線と道路斜線という斜線制限がかかってくるため、断面で示すように道路からセットバックしている。建物の階層を設定し、建築可能な高さ範囲で検討

し、このような想定をしている。

鈴木委員長 それでは、第2回委員会に向けての「望ましい機能」等に関して、何かご意見等がありますでしょうか。

北原委員 事業（施設）運営の方向性について、金沢区の特性を踏まえた3つの柱であるが、「近隣の市民利用施設等との連携の可能性、住み分け」とあるが、非常に運営の方向性として重要だと思います。

私は、各区で情報発信の仕事に関わっている中で考えると、センター機能であったり、ネットワークのハブ機能というのが、今の議論の中でも、非常に重要視して語られている印象があり、特に箱の中に閉じないセンター運営が非常に大事と考えた時に、例えば、区内他施設との連携のハブ機能であったりとか、利用者単体同士のハブ機能であったり、歴史文化という特性で言うと、他地区との連携であったりとか、そうしたハブ機能ということに対して、2番目のセンター機能というところの言葉の整理がもっと必要かなと感じました。

金沢区の特性を踏まえたという内容が、事情的な特性になっているので、むしろ文化的背景であったり、まちづくりの部分を1番目の方に出していかれるとよいと思います。

三輪委員 運営は指定管理なので、これからの議論だとは思いますが、部屋の運営みたいなところが印象として強いが、望ましい機能で議論頂いた、滞留や交流、体験みたいなのは、相応の施設も必要であるが、それ相応のスキルと居心地がよい事務的スペースの機能みたいなものが重視されてない印象を受けました。床面のイメージに、付随的機能スペースと実質的な床面接の連携・連動など、望ましい機能と事業の方向性のところを合わせて構想として出していくのが大事だと思います。運営される方々が、ここをどのようにマネジメントしてくれるか、そのための諸室はどういう構成になって、どれぐらいの面積配分なのか、単純な部屋貸し的な場ではなく、むしろそれ以外のところが大事というメッセージを最初に示す方がよいと思いました。

もう1点、災害的機能が少し書いてあるが、非常に大事で金沢八景駅の辺りで公共的な場があまりない中で、何かあった時に、ここに人が流れ込むということがあり得る。場合によっては、機能的に屋上で受け入れるとか、この施設だけでは賄えないと思うので、周辺の民間施設との関係みたいなものも重要になってくる。災害計画は、運営者にしっかり持っていたかなければならないので、そのために必要な機能も一緒に議論していくべきだと思います。

鈴木(達)委員 今回の議論の中で、お子さんという視点と、歴史・文化という議論があった

が、学生さん世代とかに歴史を伝えようとする、いかにも古くさいという
ような感覚になっている。

若者や子どものお父さん・お母さん世代が行こうと思えるような魅力を折り
込んでいって欲しい。

鈴木委員長 その他、事業（施設）運営の方向性についていかがでしょう。

一 同 （意見なし）

鈴木委員長 「望ましい機能」「事業（施設）運営の方向性」については、次回までにある
程度の方向性を出すということですので、本日の議論を踏まえて修正案を出
しますが、引き続き、次回も色々のご意見をいただければと思います。
続きまして、議事3に移りたいと思います。

事務局 資料7について説明

津軽石委員 文言的な話であるが、裏面の「機能の補完」という言葉が、足りないから補
うみたいな感じなので、先程の議論を聞いていると、一体的な運営や連携と
か、ポジティブな捉え方が適切かと思えます。

鈴木委員長 これは第1号で、準備号は出さないのですよね。

区政推進課長 ありません。

鈴木委員長 それであれば、これまでの経緯について、簡単に冒頭の部分で触れてもよい
と思います。諸団体へのヒアリングやアンケートを実施してきたという経緯
を触れて、検討を開始しましたということが分かるようにした方が良いのか
なと思えます。

既にいろんな意見を出された方々が自分たちの意見がどうなったんだろう
と思われるのではないかと思います。

三輪委員 そうすると、今後の流れもいきなり検討会が開始しているが、区民の意見が
あつての検討会の始まりという意味合いの方がいいのではないかと。

鈴木委員長 ニュースに関して、大まかな修正点は2つです。

1つ目は、これまでの経緯をどう区民の方に伝えるかというご指摘と、2つ
目、機能の補完という表現方法の見直しの、主にこの2点を修正して、区民
文化センターニュース第1号を発行するというので、よろしいでしょ
うか。

赤江委員 裏面の今後の流れについて、開館時期はあえてここには示さないのか。

区政推進課長 具体的な開館時期等については、予算の成立等も含めて、現段階では表現で
きないというのが実情でございます。

鈴木委員長 ニュース第1号は、次回委員会までに出るということでしょうか。

区政推進課長 第2回の前に、第1号は発行する予定です。

鈴木委員長 修正内容については、委員長に一任という形でよろしいでしょうか。

一 同 （異論なし）

	<p>鈴木委員長 本日の議事は全て終了いたしましたので、事務局の方で、本日の意見を取りまとめていただき、次回の委員会でお示しいただければと思います。 それでは、進行を事務局にお返しします。</p> <p>区政推進課長 本日は活発なご議論を賜りまして、誠にありがとうございました。本日頂戴いたしました貴重なご意見は、資料としてもう一度見やすく、理解しやすいような形で修正をして、次回の委員会でお示ししたいと思っております。 これにて、本日の委員会は終了とさせていただきます。</p> <p>閉会</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>資料1 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 委員名簿 資料2 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会条例 資料3 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会運営要綱 資料4 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 検討スケジュール 資料5 基礎情報の共有</p> <p>1.区民文化センターの概要／2.他区における区民文化センターの整備事例／3.金沢区の概要と特性／4.金沢区内施設・近隣施設の利用状況／5.金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要／6.市内外の他文化施設におけるアウトリーチの実例</p> <p>資料6 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について 1.重視する視点／2.望ましい機能／3.事業（施設運営）の方向性</p> <p>資料7 金沢区 区民文化センターニュース 第1号（案）</p> <p>別紙1 位置図（金沢八景駅東口） 別紙2 市民意見募集の結果概要</p> <p>2 特記事項</p> <p>・ 次回 日時：令和4年10月17日（月） 13時から 場所：金沢区総合庁舎5階1号会議室</p>

●金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について

1 重視する視点（第1回委員会決定事項）【修正版】

金沢区の特長、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターと他の区民等利用施設の役割、区民の文化・芸術活動の取組状況などを鑑み、様々な観点から「重視する視点」としては、次のように考えられます。

この視点に沿って、区民文化センター整備に向けた基本構想の策定や設計などが進められます。

☆〔視点1〕歴史と文化の息づく、金沢区らしさ・魅力発信

〔視点の背景〕

- ・ 金沢八景駅及びその周辺は、人の往来・交通の結節点となっています。
- ・ 金沢区の魅力である歴史と多層的な文化を、結節点となる区民文化センターから発信することにより、金沢区らしい文化・芸術活動の拠点となります。
- ・ 六浦・金沢のエリアは、鎌倉時代には幕府の外湊（六浦津）^{そとみなと むつうらのつ}として開かれ、鎌倉へ続く朝夷奈切通しは、やぐら群が残るなど往時の姿を比較的良くとどめており、人の営みと自然が一体となった景観は、都市開発の進んだ横浜において大変希少です。金沢北条氏の残した称名寺や金沢文庫と併せて、区内に残された歴史的・文化的資産を巡る人が絶えないエリアです。また、称名寺・金沢文庫所蔵の文物を中心として、横浜市内では金沢区に最も多くの文化財があります。
- ・ 金沢～富岡の旧海岸沿いのエリアには、都心近郊に位置する風光明媚な海浜風景を目当てに、明治期には都心部で活躍する政治家や実業家の別邸・別荘がいくつも建てられ、周辺には料亭なども並びました。旧伊藤博文金沢別邸を残す野島公園や川合玉堂別邸庭園など、形を変えつつ、いくつかは今もその姿が残され、多くの区内外の人々が親しんでいます。
- ・ 金沢・釜利谷のエリアは、丘陵地に豊かな緑地を抱え、金沢自然公園などと併せて、区内外の多くの人々が自然的資産に親しんでいます。また、金沢八景駅西口には、権現山・御伊勢山を後背に、江戸期には海に面して東照宮がありました。東照宮を訪れる上客のための休憩所であった旧円通寺客殿を残し、樹林地と併せて令和4年4月に金沢八景権現山公園として開園しました。現代的な駅舎のすぐそばにたたずむ、かつての海岸線近くにあった丘陵の名残を感じさせる公園です。

☆〔視点2〕身近な文化・芸術の創造

〔視点の背景〕

- ・ 文化・芸術活動をしている区民の、地域における普段の活動の場、発表の場。
- ・ 区民文化センターは、地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供

☆〔視点3〕多様な世代・多彩な分野の文化・芸術活動

〔視点の背景〕

- ・ 区内には高齢者が比較的多く、多様な経験を持った区民の地域における活動。
- ・ 区内には2つの総合大学が立地し、10～20代の若者世代の滞在が比較的多い。
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョン^{*}の推進。
※誰もが、社会、地域社会の一員として包括され、生きがいを持って生活することのできる状態を目指す芸術文化による取組のことを幅広く指します。
- ・ **様々な国を背景に持つ方が活動・参加しやすい環境をつくることにより、多彩な文化・芸術活動を推進。**
- ・ 従来から盛んな展示系・音楽系の活動のみならず、あらたな分野の活動にも対応した環境づくり。

☆〔視点4〕あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり

〔視点の背景〕

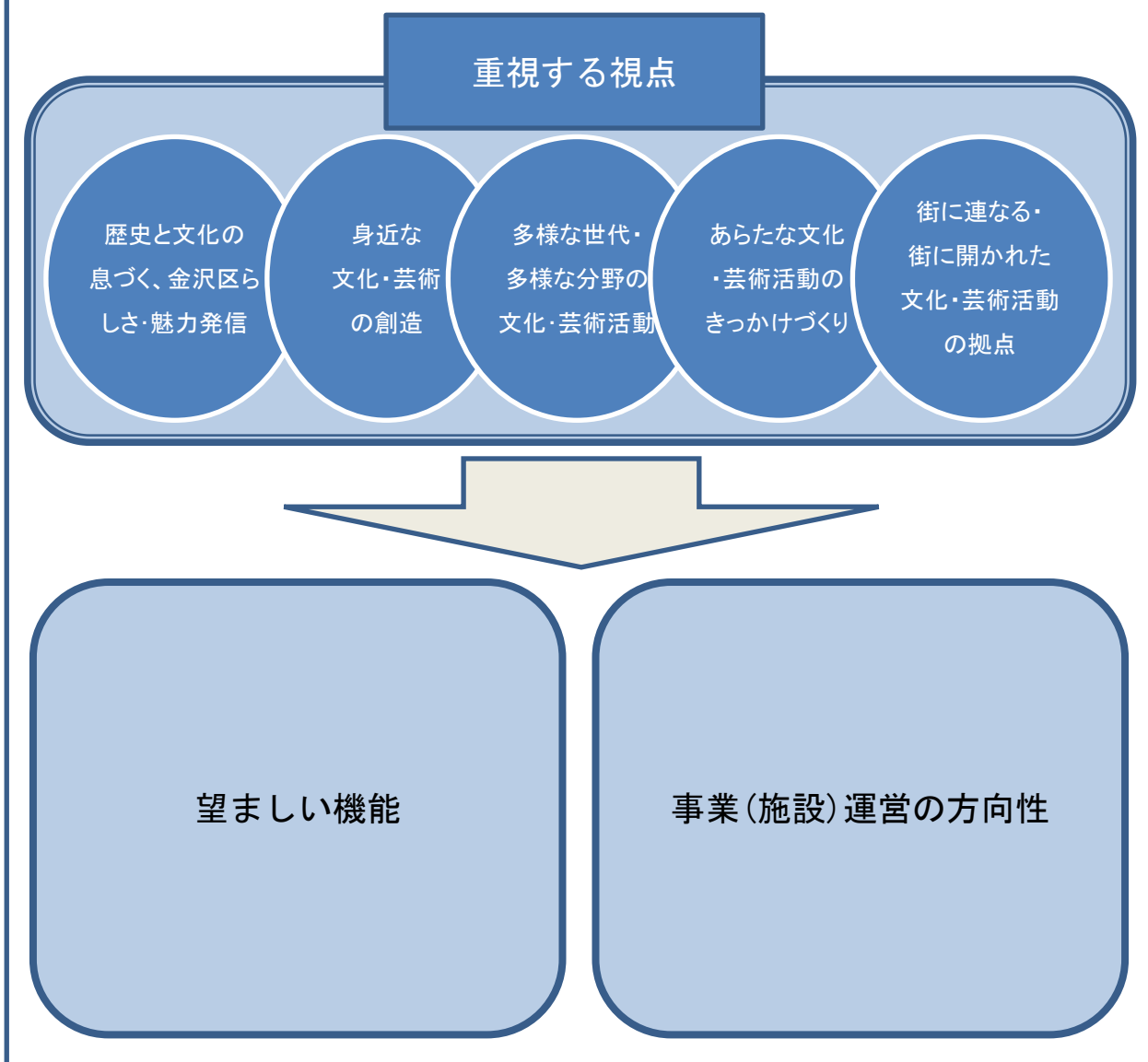
- ・ 身近な地域で、文化・芸術活動を新たに始める又は再開するきっかけやアートを通じた交流の場の提供。
- ・ **文化・芸術活動に関わる子どもをはじめとした次世代の育成と活動・参加しやすい環境づくり。**
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化芸術に触れる機会の提供。
- ・ 地域における文化を介したネットワークの形成をけん引。
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョンの推進。

☆〔視点5〕街に連なる・街に開かれた文化・芸術活動の拠点

〔視点の背景〕

- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。
- ・ 区民文化センターから周辺の街への「にじみ出し」。
街に開かれたデザインの工夫、建物内の動線・配置の工夫、自主事業の効果的な企画と情報発信。
- ・ **気軽に立ち寄り、文化・芸術に触れて関心が持てる場の提供。**
- ・ 金沢八景駅の東側では、土地の区画整理やシーサイドラインの延伸などによって街の姿を大きく変え、平成31年までにおおむねの街の整備が完了しました。区民文化センター整備は、駅前の商業地域内にある市保有の土地を活用できます。
- ・ 金沢八景駅及びその周辺は、人の往来・交通の結節点。

金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性



2 金沢区における区民文化センターに望ましい機能について【修正版】

金沢区の特徴、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターの役割、そして区民の文化・芸術活動の取組状況や区民に望まれている機能などを鑑み、金沢区における区民文化センターに望ましい機能は次のとおりと考えられます。

望ましい機能 (想定される活動イメージ)	想定されるスペース	重視する視点との関係
音を出す発表や練習	<ul style="list-style-type: none"> 音を出す（音楽、演劇、ダンス等）発表やグループでの練習ができる音楽多目的室 個人や小グループが音を出す（音楽、映像等）練習ができる練習室（防音） 	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の発表ができる設備や設え。視点2 普段の文化・芸術活動ができる設備や設え。視点2 多彩な分野の文化・芸術活動に対応した可変性のある設え。視点3 アートを通じた交流のできる環境づくり。視点4
作品の展示や制作	<ul style="list-style-type: none"> 作品の展示や制作、創作ワークショップができるギャラリー 	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の発表ができる設備や設え。視点2 普段の文化・芸術活動ができる設備や設え。視点2 多彩な分野の文化・芸術活動に対応した可変性のある設え。視点3 アートを通じた交流のできる環境づくり。視点4
文化・芸術セミナーやアート講座	<ul style="list-style-type: none"> セミナー、アート講座、創作ワークショップができる会議室 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の文化・芸術活動ができる設備や設え。視点2 多彩な分野の文化・芸術活動に対応した可変性のある設え。視点3 身近な場所で文化・芸術に触れることができる環境づくり。視点4
文化・芸術の情報発信や交流	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の情報発信や、多様な団体とコミュニティをつくりやすい交流ができる情報コーナー 創作ワークショップや作品展示、イベントができる屋外スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 金沢区らしさ・魅力の発信。視点1 多彩な分野の文化・芸術活動に対応した可変性のある設え。視点3 アートを通じた交流のできる環境づくり。視点4 気軽に立ち寄り文化・芸術活動の情報を得ることができる設え。視点5

3 事業（施設）運営の方向性【修正版】

多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、区民文化センターは指定管理者制度で運営されます。

将来的に金沢区において整備される区民文化センターを運営していくために、検討しておく「運営の方向性」としては、次のとおりと考えられます。

☆ 金沢区の特性を踏まえた区民文化センター

- ・ 歴史的・文化的資産が多く、また交通の結節点という金沢八景駅前の立地を生かした、金沢区の歴史的・文化的な情報の提供。 **視点1**
- ・ 近隣の市民利用施設等と連携した企画・運営の可能性、すみ分け、場所や機能の連携。
視点2
金沢公会堂（講堂、多目的室、会議室、和室ほか）、金沢地区センター（会議室、和室、プレイルーム、料理室、体育室ほか）
- ・ 気軽に立ち寄れて、文化・芸術に触れることができる場の提供。 **視点5**

☆ センター機能としての役割の発揮

- ・ 文化・芸術活動、歴史・文化等の多彩な分野、利用者・団体間等、これらをつなぐハブ機能の発揮。 **視点1・3**
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。 **視点2**
- ・ 使いやすい利用時間設定等による弾力的な運営。 **視点2・4**
- ・ 積極的なアウトリーチ活動の企画・情報発信。文化活動団体と連携した企画・運営の検討。
視点2・4
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョンの推進。
視点3・4
- ・ 多様な立場の人が興味を持ち参加しやすく、気軽に文化・芸術に触れることができる場の提供および自主事業の効果的な企画と情報発信。 **視点3・4・5**
- ・ 文化・芸術活動に関わる子どもをはじめとした次世代の育成、活動・参加しやすい自主企画・運営等の推進。 **視点4**

☆ 専門人材の配置と人材育成

- ・ 地域における文化を介したネットワークの形成をけん引。 **視点3**
- ・ 文化事業・アートプロジェクトなどの文化活動を専門的に支援できるコーディネーター人材の配置。 **視点3・5**

☆ 公共施設としての役割の発揮

- ・ 金沢八景駅前～周辺エリアのつながり・ネットワークの形成を進めることで、金沢区心部の回遊性を高める拠点の一つとなることに寄与する。 **視点5**
- ・ 災害対応機能の付加**及び周辺施設との連携体制の構築。**
 - (1) 津波避難（概ね3階以上の建物であること）
 - (2) 駅前という立地から帰宅困難者の一時避難
- ・ **SDGs に配慮した企画・施設運営。**

●コンセプト（めざす姿）

これまでの基本的な方向性の議論を踏まえ、金沢区における区民文化センターがどのような施設となることを目指していくか、その将来像をコンセプト（めざす姿）としてまとめると、次のとおりと考えられます。

金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信

イメージ

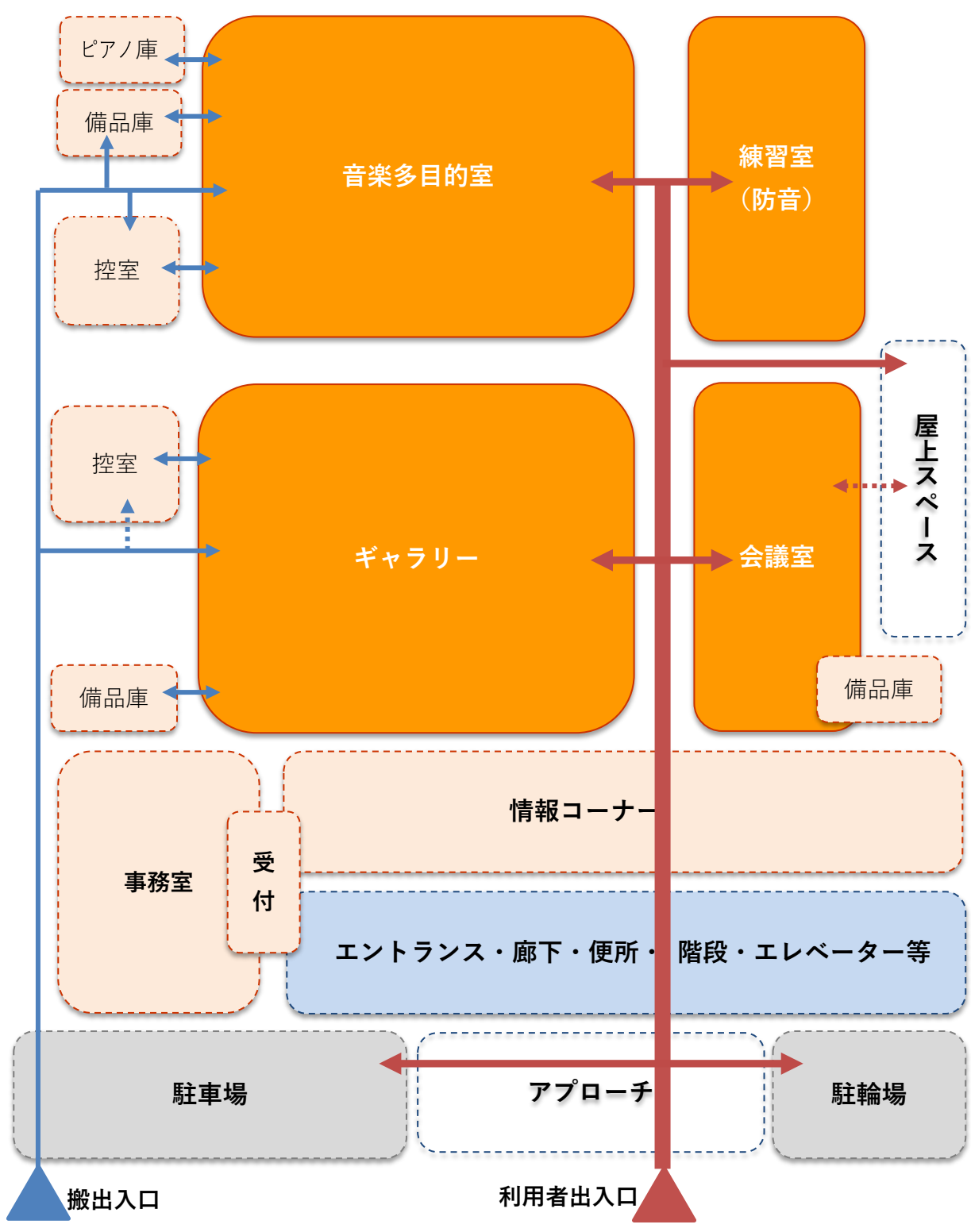


● 答申構成案について

1 答申の構成案

構成案	備考
はじめに	
目次	
第 1 章 区民文化センター整備の検討にあたって前提となる事項 <ol style="list-style-type: none"> 1 区民文化センターの概要 2 金沢区の概要と特性 3 金沢区内施設・近隣施設の利用状況 4 金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要 	第 1 回委員会資料を基に作成
第 2 章 金沢区における区民文化センターのめざす姿について <ol style="list-style-type: none"> 1 コンセプト（めざす姿） 2 重視する視点 3 望ましい機能について 4 事業（施設）運営の方向性 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 前回の振り返り 及び今回議論 </div>
第 3 章 施設機能・構成について <ol style="list-style-type: none"> 1 施設機能・構成について 2 機能配置・構成について 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 次回意見交換 </div>
参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会条例 ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会運営要綱 ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会委員名簿 ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会検討経緯 	第 1 回委員会資料を基に作成

2 施設の機能構成イメージについて



凡例：	— 利用者動線	※この資料は議論のきっかけづくりのためのイメージ図であり、実際のレイアウトを示すものではありません。
	— 搬出入動線	

金沢区 区民文化センターニュース 第2号 (案)

発行：令和4年〇月〇日

第1回委員会を開催しました

9月22日（木）に第1回委員会が金沢区役所で開催されました。最初に事務局から、区民文化センターの概要や他区における整備事例、金沢区の概要と特性、区内や近隣施設の利用状況、金沢区における区民文化センターの整備の考え方と候補地の概要などが説明されました。その後、整備の基本的な方向性などについて議論・意見交換を行いました。



第1回委員会の様子

金沢区における区民文化センターの基本的な方向性について

「重視する視点」について議論しました

金沢区の特性、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターと他の区民等利用施設の役割、区民の文化・芸術活動の取組状況など、様々な観点から「重視する視点」について議論しました。この視点に沿って、区民文化センター整備に向けた基本構想の策定や設計などが進められます。

また、「望ましい機能」や「事業(施設)運営の方向性」についても意見交換をしました。（裏面参照）

イメージ

重視する視点

歴史と文化の
息づく、金沢区
らしさ・魅力発信

身近な
文化・芸術
の創造

多様な世代・
多様な分野の
文化・芸術活動

あらたな
文化・芸術活動の
きっかけづくり

街に連なる・
街に開かれた
文化・芸術活動

望ましい機能

事業(施設)運営の方向性

「望ましい機能」、「事業(施設)運営の方向性」について意見交換しました

■望ましい機能について

- ・金沢区の歴史文化を区民や来街者に対する魅力発信を重視すべき。
- ・区民文化センターの存在を知らせるためのプロモーションにどんな機能が必要かは考えるべき。
- ・気軽に立ち寄れるスポット（「とまり木」機能）となることが大事。
- ・1階レベルで街にどのような開き方をするかがポイント。
- ・文化・芸術に対する敷居を低くし、まず第1歩を踏み出してもらうことが重要。
- ・子どもや若い人、その親世代が行きたいと思える魅力を折り込んでいく必要がある。
- ・多様な団体規模に応じた可動式の間仕切の採用などが必要。

■事業(施設)運営の方向性について

- ・区内他施設との連携や、利用者同士の交流、歴史文化を中心とした他地区との連携など、そうしたハブ機能の考え方も重要。
- ・自主企画立案等においては、地域の方の手を借りるなど、運営に区民が関わっていくような仕組みも考えてはどうか。
- ・利用しやすい料金設定や、気軽に借りられる、見ることができるような施設運営が必要。
- ・体験学習等の自主プログラムを企画・実施できるような運営が望ましい。
- ・周辺の民間施設と連携した災害対応の考え方も重要。

「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」については、第2回委員会で引き続き議論をしていきます。

第2回委員会を開催しました

10月17日（月）に第2回委員会が開催されました。議論の内容等は次号ニュースにてお知らせします。

委員会スケジュール

委員会は全4回の開催を予定しています。

第1回（実施済）

9月22日（木）
基礎情報の共有及び基本的な方向性の確認、意見交換・議論

第2回（実施済）

10月17日（月）
基本的な方向性、答申構成等についての議論

第3回

11月14日（月）
答申案等についての議論

第4回

12月15日（木）
答申案（修正版）の議論・確定

※スケジュールは会議の進捗等により変更となる場合があります。
※委員会において決定された答申は市長へ提出されます。



今後も、委員会の様子をこのニュースにてお伝えしていきますので、区民文化センターについてご意見等がありましたら、下記の問い合わせ先に文書（FAX・E-mail）にてお寄せください。いただいたご意見は委員会を進めていくにあたっての参考とさせていただきます。

発行：横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会事務局（横浜市金沢区区政推進課）

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀二丁目9番1号

電話：045-788-7729 FAX：045-786-4887 E-mail：kz-kusei@city.yokohama.jp

ホームページ：https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/kubunkentou.html

